

チームのために 一生懸命

10月7日、高齢者を対象とした町いきいきシルバースポーツ大会がB&G海洋センター体育館で開催されました。当日は町内の老人クラブ9チームが参加し、8種目の競技に熱戦を繰り広げました。開会式で平三義町老人クラブ連合会会長が「健康はスポーツからだだと思います。自分の体を大事にして、介護を受けないように努めましょう。」とあいさつ。さっそく始まった競技では、スプーンリレーや風船競争、玉入れなどがおこなわれ、応援席からも、自分のチームの選手に大きな声援が送られていました。最後は、各種目でまんべなく得点した中津川南部チームが優勝。準優勝は中津川中部チーム。三位が求名中央チームでした。また11月5日には、鶴田町で川薩地区のいきいきシルバースポーツ大会がおこなわれ、本町からも選抜チームが出場する予定となっています。

五穀豊穰を願って 「南方神社秋の大祭」

9月29日、永野南方神社（諏訪神社）境内で「南方神社大祭」が開催され、永野兵児踊り保存会10名による兵児踊りが奉納されました。

踊り手がお面やかつらを付けるなど自由な雰囲気の特徴の永野兵児踊り保存会の兵児踊りは、神事に引き続きおこなわれました。

中央の踊り子の平真一さんが、大きな声で「兵児さん、兵児さん御前はどこ行かしゃんすー。」と叫ぶと、回りは「俺どみゃ出水になごさみに」と応え、踊りは最高潮に。しばらく問答が続いたあと、向きを変え、ぐるぐる回りながら足を高く跳ね上げて踊りました。終盤に差し掛かると、踊り手もだんだん疲れ気味。途中で「もっと飛ばんかー、元気がねーどー。」と激励の掛け声もかかっていました。

しかし最後は、若手4人が社殿の奥まで掛け声も高らかに跳ねながら進み、参拝すると観客から惜しみない拍手が送られていました。



▲ビール瓶の置き場所を移す「おきかえ競争」

全国伝統地名市町村 連絡会議総会開催

10月9日、全国伝統地名の加盟国による総会がI.G.R.京セラで開催されました。

全国伝統地名とは、薩摩や土佐など昔の地名を名乗る市や町により構成され、36力国が加入しています。加盟国を回るスタンプラリーや相互交流などをおこなっており、災害時には相互に支援するなどの協定が結ばれています。当日は全国から20市町の代表者

が集まり総会をおこないました。またスタンプラリーの台紙は企画商工課にもありますので挑戦してみてください。



▶一生懸命踊る踊り手たち

〔詩〕（共同作品）
ぼくと星と雲
中津川小三年

笠松 成吾君
白石 晃平君

ぼくが光ろうとしても、星のようには光れないが、光る星は、ぼくのようにはいしゃべれない。
ぼくは、雲のように空にうかぶことはできないが、雲はぼくたちのように地面を歩くことはできないよ。
星と雲とそれからぼく、みんなちがつてみんないい。

わたしと雲と花と
中津川小三年

徳丸ありなさん
前田 夏帆さん
わたしがいくらとんでもお空にはとべないが、空にうかぶ雲は、わたしののように地面におりられない。
わたしの体をおつてもいいにおいはしないけど、あのお花は、わたしのようにおさんぽはできないよ。
花と雲とそれからわたし、みんなちがつてみんないい。